

## ☆尾鷲市立尾鷲中学校区の取組



### ◆事業概要

#### 1 中学校区の現状と課題

尾鷲中学校区の子どもの中には、自分に自信が持てない等、自尊感情が十分に高められていないことや、学習に対して意欲的に取り組めないという課題のある子どもが見受けられました。また、「将来、自分が育った地域に住みたい」と考えている割合が低い等、地域への愛着・帰属意識が高められていないという課題も明らかとなりました。

#### 2 課題解決のための主な取組

##### (1) 夏休み地域学習会

夏休み中の子どもたちの居場所づくりと地域の大人との出会いや交流を目的として、全6日間（午前中）の地域学習会を実施しました。

学習の様子として、中学生が小学生の学習支援を行う姿等も見受けられ、子どもの異年齢交流も進んでいき、その結果、小学校において、夏休みの課題提出率が100%となりました。



〈学習支援の様子〉

##### (2) 尾鷲中学校区人権フェスティバル（「おわせっこいきいきフェスティバル」）

尾鷲中学校区で初めての人権フェスティバルとして、「おわせっこいきいきフェスティバル」に取り組みました。

舞台上で発表した子ども、体験コーナーで活動した子ども、参加した子ども、保護者、地域住民、ボランティア等、のべ500人の集いとなりました。準備や当日の活動をとおしての、協働や多様な体験は、子どもたちにとって地域への愛着や帰属意識等と同時に、コミュニケーション力の向上につながりました。



〈舞台発表の様子〉

### ◆実践を振り返って

子ども支援ネットワークの活動は、そこに集い活動する地域の人々に居場所と出番を創出し、多様なつながりをもたらしました。子どもたちは、大人から愛情や理解を受けているということを実感し、自尊感情や学習意欲を高めることができました。

子どもとともに大人も大きく成長できる活気あふれる地域づくりの場として、子ども支援ネットワークの活動をさらに工夫し、発展させていきたいと考えています。